



情報システム工学講座

講師

うら  
しま  
浦島

あきら  
智

(1970生)

博士(工学)

(京都大学・平11)

■経歴

京都大学工学部電気工学科卒業(平5.3) / 京都大学大学院工学研究科電気工学専攻修士課程修了(平7.3) / 京都大学大学院工学研究科電気工学専攻博士課程修了(平11.5) / 富山県立大学工学部助手(平11.7 ~ 19.3) / 同大学助教(平19.4 ~ 23.3 学校教育法改正による職名変更) / 同大学講師(平23.4 ~)

**担当科目** 情報システム工学実験 2/ プログラミング 1/ プログラミング演習 1/ 組込みシステム工学 / システム最適化 (大学院)

**専門分野** 情報システム / 画像処理工学

**論文・報告**

「多点単色光オーロラ観測画像のトモグラフィ再構成解析に関する研究」(学位論文)

「看護師支援のための行動識別による手指衛生必要状況検知システムの開発」(日本バーチャルリアリティ学会論文誌 Vol.14 No.1 pp. 29-38 2009)

「看護師向け指差し呼称検知システムの開発」(電子情報通信学会論文誌 D, Vol.J99-D, No.2, pp.224-231, 2015)

「LabVIEW 画像計測入門」(共著講談社 ISBN: 40615579202011)

**所属学会** 電子情報通信学会(平7~) / 地球電磁気 / 地球惑星圏学会(平9~) / 情報処理学会(平13~)

**現在の研究課題**

1. 振動センサによる入力インタフェースの開発

窓ガラスやテーブルなど既に存在する平面に数箇所の振動センサを設置し、得られた情報をリアルタイムで処理することによって、平面をタップした位置や引っかけた描線などを取得する手法の開発を行っている。これにより、外観に大きな影響なく設置できるポータブルな入力インタフェースの実現を目指している。

2. ユビキタスセンサによるユーザ支援システムの研究

ポータブルあるいはどこにでも設置可能なユビキタスセンサ機器を利用して、人間の動作を識別する研究を行っている。さらにその識別された動作と看護分野など特定分野における行動ルールとを照合することにより、禁止される行動あるいは要求される行動について助言を行うシステムの研究を行っている。

**共同研究キーワード**

情報センシング / ユーザインタフェース